

聞いてほしいー  
伝えてほしいー

ナガサキ・土崎

写真：きのこ雲 (長崎原爆資料館 提供 [松田 弘道氏 (撮影)])  
NAGASAKI TSUCHIZAKI

# 被爆証言講話会

同時開催 原爆被災写真パネルの展示 (長崎原爆資料館所蔵)・土崎空襲資料展示

平成30年

7/15 (日) 午後1時30分～午後3時30分

7/16 (月・祝) 午前10時～正午

にぎわい交流館AU 4階 研修室1・2

秋田市中通一丁目4番1号 電話 018-853-1133

入場無料  
申込不要



平和祈念像

お問い合わせ 秋田市企画調整課 電話 018-888-5464

行事内容

## ◆長崎の被爆者による講話

[[15日] 13:30～14:30・[16日] 10:00～11:00)

講話者/小峰 秀孝 さん (長崎平和推進協会継承部会員)

## ◆土崎空襲体験者による講話・DVD上映

[[15日] 14:40～15:30・[16日] 11:10～12:00)

講話者/伊藤 津紀子 さん (土崎港被爆市民会議)

※2日間とも同じ内容です。



主催/秋田市 協力/公益財団法人長崎平和推進協会、長崎原爆資料館、土崎港被爆市民会議、CNA秋田ケーブルテレビ  
後援/秋田県教育委員会、秋田市教育委員会、平和首長会議、日本非核宣言自治体協議会、秋田魁新報社、朝日新聞秋田総局、河北新報社、毎日新聞秋田支局、  
読売新聞秋田支局、産経新聞社秋田支局、日本経済新聞社秋田支局、時事通信社秋田支局、共同通信社秋田支局、NHK秋田放送局、ABS秋田放送、  
AKT秋田テレビ、AAB秋田朝日放送、エフエム秋田

# ナガサキ・土崎 被爆証言講話会

しょうわ ねん (1945年) 8月9日午前11時2分、  
ながさきし とうか げん しばくだん いっしゆん とし  
長崎市に投下された原子爆弾は、一瞬にして都市を  
かいてつ いくた とうと せいめい うば  
壊滅させ、幾多の尊い生命を奪いました。

また、ここ秋田では、終戦前夜の8月14日から15  
にち みめい つちぎき ちく まん せんぼつ こ ぼく  
日未明にかけて、土崎地区に1万2千発を超える爆  
だん とうか ぐうしゅう にほんさいご ぐうしゅう  
弾が投下され、この空襲は、「日本最後の空襲」と  
よ  
呼ばれています。

あきたし  
秋田市は、このような悲劇を二度と繰り返してはなら  
ないとの思いから、体験者の講話や原爆被災写真・  
つちぎきくうしゅう しりょう てんじ とお じじつ じせだい  
土崎空襲資料の展示を通して、その事実を次世代に  
かた つ  
語り継ぎます。



松山町の高台から城山国民学校を望む  
長崎原爆資料館提供【林重男氏(撮影)】



浦上天守堂  
長崎原爆資料館提供【石田寿氏(撮影)】



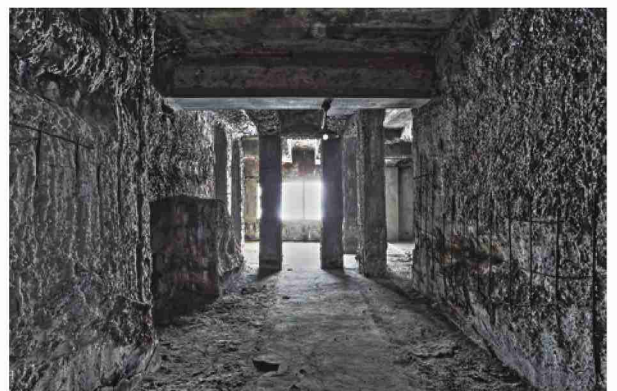
溶けた6本の瓶  
長崎原爆資料館提供【岡田寿吉氏(寄贈)】



土崎空襲で死亡した児童が着ていた学童服  
(右脇腹(赤い布部分)から右肩甲骨へ爆弾の破片が貫通)



土崎空襲後の日本石油秋田製油所



土崎空襲を受けた旧日本石油秋田製油所の倉庫内



こうわしゃ  
講話者

こみね ひでたか  
小峰 秀孝 さん

しょうわ ねん う さい かげつ とき ぼくしんち やく  
●昭和15年生まれ。4歳8ヶ月の時、爆心地より約1.5km  
はな じたくちか はたけ き のほ と  
離れた自宅近くの畑で、ビワの木に登ってセミを捕って  
とき ひばく せんこう つつ ぼくふう じめん たた  
いる時に被爆。閃光に続く爆風で地面に叩きつけられ、  
りょうて ふくぶりょうあし やけど お  
両手・腹部・両足に火傷を負う。

- ◆ (公財)長崎平和推進協会 継承部会員
- ◆ 原爆青年乙女の会 会長
- ◆ (一財)長崎原爆被災者協議会 理事
- ◆ 自分史「じいちゃん、その足どげんしたと」を自費出版
- ◆ 「平和・協同ジャーナリスト基金」 奨励賞受賞